



# コルネリオ会

(防衛関係キリスト者の会)

ニュースレターNo. 126

2011年5月



## 震災の近況報告

会員 松山 暁賢

(今回は東日本大震災関連から始めます。まず、松山暁賢兄からの近況報告3通を紹介します。)

前略、早速お見舞いや励ましのお電話、メールを頂きて有難うございます。

おかげ様で仙台の松山家族には全く人的な被害はありませんでした。水道、ガスはまだ復旧していません。水は近くの小学校に給水車が来ますので、20分から1時間以上待っていただいております。一人1回9ℓに制限されておりますので、1日に3、4回取りに行くのが私の日課となっております。雪や雨水も恵みの生活用水になりますので浴槽に蓄えて大事に使用しております。隣がガソリンスタンドですが、まだ給油は受けられません。殆んど徒歩です。

昨日まで若林区の孫3人とその友人が我が家に避難しておりましたので8人家族でした。

滅多に耳を貸さない私の戦争体験等を孫たちに話す機会が与えられ、感謝しております。

今は友人、知人に安否不明の者がおり心配しております。また、福島原発事故、関東地方の余震も心配です。どうぞお気をつけてください。(2011.3.24)

前略、大地震の発生から早くも一ヶ月、やっと東北にも春がやって来た感じの今日この頃です。

おかげ様で私のところはライフラインも復旧し、食料品等も並ばずに買えるようになりました。一時避難していた若林区の孫たちも帰りましたので、同じ町内会でまだ水道、ガスが復旧していない家も多くあり、我が家は妻が知人や近所の人の入浴支援をしております。

す。多い時は8人の日もあります。

私は隊友会(自衛隊OB会)ボランティアで太白区内の避難所となった小、中学校等で後片付けをいたしました。昨日(6日)で避難所の仕事は終わり、次の仕事待ちとなります。

その間、全壊した友人宅の引き越し手伝いに行きます。

こんな時に、入浴支援やボランティアをさせて頂けることは本当に幸せなことであり、神に感謝しております。

3日、やっとガソリンの給油が受けられましたが、これを機会に出来るだけ徒歩で移動したいと思います。バスは迂回路線の休日ダイヤです。地下鉄も完全復旧までにはあと1ヶ月は要しますのであまり利用しておりません。

東日本大地震は大変ですが、被害者支援、復旧活動が主体です。しかし、福島原発事故はこれからが大変です。想定外では済まされません。私たちは被害がこれ以上拡大しないように神に祈るしかありません。

(2011.4.7)



前略、当地仙台も桜の季節となり、暖かい春がやって来ました。例年ですと桜の名所、西公園や榴ヶ岡公園は、朝6時ごろからお花見客の場所取り合戦が始まりますが、今年は全くその気配はありません。7日深夜には震度6強の余震がありましたし、やはりこの種行事は控え目なのかもしれません。

全壊した友人遠藤光春君宅（伊達藩時代からの老舗、鹿落旅館）は13日に残念ですが解体されました。石巻の友人本吉正君宅は、1階の天井まで浸水し、生活用品だけは2階に運んで4日間過ごしたとのこと、引越しの手伝いは彼の家一帯が立ち入り禁止区域になっており行きませんでした。彼とは昨年ベトナム、カンボジアを旅行した際、日本の両国に対する復興支援やその規模に、我国の国力を感じ誇りに思いながらホテルで終戦直後

の我国復興の思い出等を語り合いました。

今回の大地震からの復興は、日本人の英知と団結力を全世界に示し、戦争のない、そして震災に勝つ国作りのモデルになることが、多くの外国から支援を受けた恩返しにもなるのではないのでしょうか。

7日の余震は震度6強で33年前の宮城県沖地震に匹敵する地震でした。せっかく復旧したライフラインも振り出しに戻ったり、更に被害が拡大したところも多く、余震も本震もありません。しかも、福島原発に近いところで多発しているのも心配です。無力な私が今やれることは、被害がこれ以上拡大しないように神に祈ることだけです。

地震、津波、火事、原発！くれぐれも御身御大切に。

以上、御礼方々近況ご報告まで 草々（2011.4.15）

## 松山暁賢兄宅訪問

4月28日、私は松山暁賢兄に対しコルネリオ会から震災お見舞いを述べるため、仙台を訪問しました。私の妻も同行しました。震度7に対し彼の家は踏ん張り、ライフラインは不能となりましたが、直接的物的被害はない状態であったとのこと。もともと同兄宅地域は津波の心配はない地域です。

彼自身は外出で、地下鉄に乗車中に地震に遭い、約15キロを徒歩で帰宅し、奥様と同居のお孫さんの無事を、3日後に若林区のご長女一家の無事を確認されたとのことでした。その間、電話、携帯、自動車等すべての連絡手段が使えない状態でした。

同兄宅は、3月25日にライフラインが復旧し、未だガス、水道が復旧しない近所の10世帯ほどに浴室

会員 矢田部 稔

を開放し入浴支援を続けられました。また、隊友会のネーム入りコートを着たボランティアグループの一員として避難所となっていた小、中学校等の後片付け等をなさいました。松山兄はこのような奉仕が出来たことを神に感謝していると仰っています。

当日は同兄の運転により仙台平野を一巡しました。例えば、海岸に近い仙台飛行場のフェンス内側には第二のフェンスのごとく瓦礫、自動車、トラック、飛行機、舟等が積み上げられていました。主要道路では自動車走行はできるようになっていましたが、道路規制によって沿岸部の被災地域には近づくことはできない状況でした。

## 被災地を訪問して

4月3日～6日南三陸町、気仙沼、陸前高田市で支援活動をしている団体の活動記録を撮る仕事で行って来ました。

まだ雪がちらつき気温が5度という厳しい冷え込み、避難所によっては出入り口まで寝床をつくらなくてはいけないほど密集していて換気も悪く、咳きがあちこちで聞こえ、大変厳しい状況で本当に胸が痛みます。

野菜ジュース（野菜サラダが食べたいという声が多

東アジア大会奏楽者 高橋 敬子

い)、下着、ガソリン、ストーブ、灯油を各避難所、物品集荷場所、ボランティアセンターなどに届けたり、避難所での簡易風呂の建設、被災者の現況を把握するといった活動をしました。

ガソリンの状況は大分改善され避難所にも物品が多く届けられるようになりました。ただ、地形や人数、場所によって大分ばらつきがあります。車道が崩壊し

ている集落には物資が十分に行き届いていません。養殖業や漁師の方が多いのですが、船、網一つでも2億円、養殖の設備はもっとお金がかかります。まだ国から再建策もなく見通しが立たず、折れそうになる思いをなんとか必死で耐えている様子です。

気仙沼などボランティアセンターが機能し始めている所はだいぶ状況が把握され、物資の支援や炊き出し、分配が行われています。

国際飢餓対策機構が南三陸の中学校で教室を借り、子どものケアなど活動していた。一日も早く仮設などで生活を始めたい、というのが大きな声です。大きな政策は行政にゆだねるしかありませんが暖かい食事の提供など炊き出しと、子どもを思いっきり遊ばせる、

がれきや泥出しの片付けニーズが継続的に必要です。教会関係ボランティアも様々入っていると思います。

全壊した気仙沼第一バプテスト教会のため、また教会のなかった小さい漁村の被災地に多くの教会関係者の支援の働きによって主の愛が現わされていきますように。心と霊的回復のために。集荷場所には多くの物資があり、それが必要とされている小さな避難所に行きわたりますように、必要な助け手が様々な方法で与えられますように。それぞれお祈りください。

また、今回どの現場でも自衛隊員の活躍が印象に残り、コルネリオ会の意義を改めて感じました。自衛隊伝道の祝福を陰ながらお祈りしていきたいと思います。

## 祈り合いましょう

会長 今市 宗雄

コルネリオ会では、ニュースレターを会員約130名と協力牧師約140名へ送付しています。

昨年9月には、東アジア9カ国の150名の同胞と成田で大会を持ち主を高らかに賛美しました。

しかしながら、本大会にコルネリオ会員・准会員で参加できたのは、僅か15名ほどでした。

それでも忍耐をもって私共に恵みを下さる主に応えて行くために、本日は会員一人一人がコルネリオ会の活動について更に祈って頂くことを提唱します。まずは、コルネリオ会が用いられていることへの感謝の祈りです。次に、自衛隊員の使命遂行への祈りです。更に、世界軍人クリスチャンの平和への貢献への祈りです。一日の祈りの中で、これらを覚えていただきたいものです。

あらためて、使徒の働き第10章を以下に抜粋します。

さて、カイザリヤにコルネリオという人がいて、イタリヤ隊という部隊の百人隊長であった。

彼は敬虔な人で、全家族とともに神を恐れかしこみ、ユダヤの人々に多くの施しをなし、いつも祈りをしていたが、ある日の午後三時ごろ、幻の中で、はっきりと神の御使いを見た。御使いは彼のところに来て、「コルネリオ。」と呼んだ。彼は、御使いを見つめていると、恐ろしくなって、「主よ。何でしょうか。」と答えた。すると御使いはこう言った。「あなたの祈りと施しは神の前に立ち上って、覚えられています。さあ今、ヨ

ッパに人をやって、シモンという人を招きなさい。彼の名はペテロとも呼ばれています。見ると、天が開けており、大きな敷布のような入れ物が、四隅をつるされて地上に降りて来た。その中には、地上のあらゆる種類の四つ足の動物や、はうもの、また、空の鳥などがいた。そして、彼に、「ペテロ。さあ、ほふって食べなさい。」という声が聞こえた。しかしペテロは言った。「主よ。それはできません。私はまだ一度も、きよくない物や汚れた物を食べたことはありません。」すると、再び声があつて、彼にこう言った。「神がきよめた物を、きよくないと言ってはならない。」どの国の人であっても、神を恐れかしこみ、正義を行う人なら、神に受け入れられるのです。ペテロがなおもこれらのことば話し続けているとき、みことばに耳を傾けていたすべての人々に、聖霊がお下りになった。

なお、今後の主要行事は以下の通りです。

2011	Interaction	Mongol
2012	Interaction	Taiwan
2013	EA Conference	Korea
2014	World Conference	未定
2015	Interaction	Japan
2016	EA Conference	Taiwan
2017	Interaction	Mongol
2018	Interaction	Korea
2019	EA Conference	Japan

## 2011年度総会報告

4月9日(土)、2011年度コルネリオ会総会が高田馬場マルエツビル2F集会所にて実施されました。2010年度の活動報告・会計報告と2011年度の活動計画・予算計画及び役員人事の審議がありました。

また、2011年度の活動計画、役員人事、会計決算及び予算は以下のようになっています。異議のある方は会宛て1ヶ月以内に申し立ててください。

### 2011年度コルネリオ会活動計画および担当者

#### 1 方針

2010 東アジア大会の恵みに応答すべく広報と宣教に努めるとともに国外活動へ参加し、コルネリオ会を活性化して会員の使命達成に寄与する。

#### 2 活動要領

##### (1) 月例会の活用

- ア 聖書の学びを通して率直な意見交換を行い、会員相互の霊的な一致を助長する。
- イ 提案や問題点を持寄り、出席者全員で解決して行く。
- ウ 新人の開拓に努めるとともに、来訪者を歓迎して地境を広げて行く。

##### (2) 広報

- ア 道央地区の教会へ初発送したニューズレターの効果を確かめ、他地区の会員開拓に反映して行く。
- イ ニューズレターへの会員投稿を勧め、会活動への参画意欲を醸成して行く。

##### (3) 宣教

- ア ホームページを更に活かし、会を通じての宣教に努める。
- イ 自衛隊宣教会とは、宣教活動の方向を周知しつつ、忍耐をもって協調を続ける。
- ウ テモテ会とは、韓国軍人クリスチャン及び関係者との交わりを通し信仰を深め励まし合う。

##### (4) 国外活動への参加

- ア AMCF (世界軍人キリスト者の会) 及び ACCTS (AMCF の教育支援機関) との連絡・調整を持続し、各行事への参加に努める。
- イ 2011 インタラクシオン(モンゴル)への教官・受講者の派遣及び台湾記念行事への出席を準備する。

#### (5) 会計

コルネリオ会会員の海外派遣宣教師、教職顧問、AMCF 及び ACCTS 等への献金に努める。

### 役員人事

会長	今市宗雄
副会長	石川信隆
総務	伊藤忠臣
渉外	矢田部稔
	中野久永
	藪内隆志
広報	圓林栄喜
	芝 祐治

会計	加瀬典文
監査	長濱貴志
	玉井佐源太
教職顧問	金学根
	井草晋一
	徳梅陽介

### 2010年度決算

(2010. 4. 1～2011. 3. 31)

1 収入	アジア大会より繰越(※)	¥693,983
	献金	¥741,500
	利子	¥223
	合計	¥1,435,706
2 支出	講師・謝礼費	¥20,000
	ニューズレター作成・発送費	¥119,846
	集会費・例会会議費	¥14,756
	新聞雑誌広告費	¥58,080
	慶弔費	¥0
	接待交際費	¥9,829
	旅費交通費	¥30,000
	事務通信費	¥12,467
	雑費(振り込み手数料)	¥4,380
	献金(国内教会・自衛隊宣教会等)	¥75,000
	小計	¥344,358
	2011年度への繰越	¥1,091,348
	合計	¥1,435,706

※席上献金外貨のレート変動により昨年報告時(¥681,174)より増額

### 2011年度予算

(2011. 4. 1～2012. 3. 31)

1 収入	前年度繰り越し	¥1,091,348
	献金	¥400,000
	利息	¥200
	合計	¥1,491,548
2 支出	講師・謝礼費	¥20,000
	ニューズレター作成・発送費	¥120,000
	新聞雑誌広告費	¥45,000
	集会/例会費	¥15,000
	慶弔費	¥20,000
	接待交際費	¥10,000
	旅費・交通費(国内・国外移動)	¥30,000
	事務通信費	¥8,000
	雑費(振り込み手数料)	¥5,000
	献金(国内教会・自衛隊宣教会等)	¥175,000
	次年度への繰越	¥1,043,548
	合計	¥1,491,548

(編集子)

災害派遣中の自衛隊の活動が守られるようお祈りください。